



いふだより

第4号

このたよりは、尾張旭市内の小中学生の子をもつご家庭や、
教職員のみなさん、地域の方に向けて発行しています。

いじめ・不登校の未然防止のために

10月に文部科学省から、いじめの認知件数が54万3933件で過去最多との発表がありました。市内では、全教職員がいじめ・不登校対策に全力で取り組んでいるところです。いじめ・不登校の早期発見及び早期対応はもとより、いじめ・不登校の未然防止や予防指導に、今まで以上に精力的に取り組んでいく必要があります。そのためには、「安心できる場づくり」「魅力ある学校づくり」「豊かな心づくり」が必要不可欠です。特に、いじめの未然防止では、人間関係づくりや自己肯定感・自己有用感の醸成、ルールとモラルの確立など、不登校の未然防止では、居場所づくりや絆（仲間）づくり、分かる授業・充実した教育活動などが必要だと言われています。

以下に市内の小・中学校での活動の一部を紹介します。それぞれの取組の目的や子どもたちへの思いを汲み取り、ご家庭でも話題にさせていただき、学校と家庭が協力し、いじめ不登校の未然防止につなげていければと考えております。

1 ルールとモラルの確立～人権教育～

(1) 人権集会

A校では、人権集会で校長から、レイフ・クリスチャンソンの「わたしのせいじゃないーせきにんについてー」という本をもとに、いじめについての話がありました。いじめはダメだということはわかっているけれど、現実には起きてしまいます。そのきっかけは些細なことであることが多いのです。わたしのせいじゃないとしらんぷりすることがないように、相手の気持ちをよく考えるとともに、どのように人と関わるのかを考え、誰もが楽しいと思える学校にしていけるよう話されました。

B校では、学期に1回人権週間を設けて、人権教育に取り組んでいます。人権集会の度に学校の児童と先生で作ったオリジナルの人権ソング「SUN」を歌って、人権への意識を高めています。

(2) 講演会

C校では、「愛知県弁護士会 子どもの権利委員会」の弁護士さんに来ていただき、6年生の各クラスに入り、いじめ予防出張授業をしていただきました。弁護士の方に話していただいたことは、とても重大で悲しい結果になってしまったいじめの話でした。心の状態をコップの水にたとえ、いろいろな要因でたまってしまった水が、ふとしたときにあふれてしまい、悲しい結果を招いてしまうことがあります。心の水を減らす方法を考えることが、解決へつながるということをお話いただきました。

D校では、「みんな違って、みんないい」という目標を掲げ、人権教育に取り組んでい



(人権集会の様子)

ます。学校保健委員会では「いろんな性について知ろう」をテーマに、LGBTについて学習しました。自分と人との違いを実感し、互いに尊重し認め合える関係づくりについて考える良い機会となりました。

2 豊かな心づくりと啓発活動～人権関係の作品応募～

全ての学校で「人権を理解する作品コンクール」に積極的に応募しています。標語においては、優秀作品を集め、作品集を作成し、各学校に掲示しています。人権啓発のポスターや習字も応募しています。

3 予防的指導～情報モラル教育とCAPプログラム～

情報モラル教育

いじめなど予想される問題事案と対処法を事前に学ぶ活動を計画的に行っています。インターネット接続端末の多様化と普及により、ネットに関わるいじめ・不登校が増加しています。E校では、学年に応じて携帯電話安全教育を行っています。高学年では、SNSでの友だちとのトラブルや、安全な使い方について専門家に教えていただきました。

CAPプログラム

CAPプログラムとは、子どもへの暴力防止プログラムのことです。全ての小学4年生と保護者を対象にチャイルドサポート企画の方から、「安心」「自信」「自由」を大切にすることを学びました。また、カバン持ちのいじめについてのロールプレイをしながら、「いや（拒絶）」「にげる」「はなす」のキーワードをもとにした対処法も学びました。



(CAPプログラム)

4 居場所づくりと相談活動～心の教室～

F校では、帰りの会で日直に対してその日の様子や最近の良いことについて発表する「ほめほめタイム」に取り組んでいます。G校では、渡り廊下に「ありがとうコーナー」を設けて、日常の中の「ありがとう」を紹介しています。一人ひとりの良いところを互いに見つけていくことにより、周りの友達から認められているという自己肯定感を高めることを目的としています。

また、全ての小・中学校に心の教室相談員がおり、相談室が、悩みを抱えた子どもたちが安心して過ごせる心の居場所になっているとともに、相談の場や学年を越えた交流の場にもなっています。



(ありがとうコーナー)

5 絆(仲間)づくり～異学年交流～

多くの小学校では、縦割り活動や異学年との交流活動を行い、横のつながりだけでなく縦のつながりも大切にし、人間関係を豊かにしています。

H校では、1～6年生で小グループを構成し、どの子どもも楽しく遊ぶことができるゲームを行っています。I校の「お話の部屋」では、6年生が朝の会に下の学年に読み聞かせをしています。縦の絆が深まるだけでなく、思いやりの心も育っています。

このように、各校では「安心できる場づくり」「魅力ある学校づくり」「豊かな心づくり」ができるよう教育活動を行っています。いじめ・不登校が発生した後の対策も大切ですが、視点を変えて、子どもたちが活躍できる場を増やし、充実した学校生活を送れるよう「いじめ・不登校の未然防止」を推進することも大切です。子どもたちへの指導・支援をし、いじめや不登校が少しでもなくなるように全力を尽くしたいと思います。

